

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	内科医師 門脇 雅子
2. 研究課題名	非結核性抗酸菌の院内感染制御基盤構築に向けた全国規模調査
3. 研究の概要	<p>本研究の内容は、研究代表機関である大分大学医学部倫理委員会においても承認を得て実施されます。</p> <p>[研究の背景]非結核性抗酸菌は土壌や水系環境に広く存在し、主に呼吸器系に定着・感染を起こします。中でもマイコバクテリウム・アブセッサスという菌による肺感染症の罹患率は2007年から2014年までで5倍と急に増えており注目されています。この菌は外国を中心に医療施設に入院中の遺伝性の肺の病気の患者さんの間で感染が拡大した事例が報告され、その後日本の複数の医療施設からも、気管切開をした患者さんの間で院内感染が報告されており、感染経路や感染拡大防止対策の解明が求められています。</p> <p>[研究の目的]気管切開を受けた状態である患者さんを対象に、マイコバクテリウム・アブセッサスの感染状況を調査します。この菌が検出される患者さんが複数名確認された場合には、十分な環境調査を行い、正しい感染経路の推定に必要な情報を集めていきます。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる患者さん: 下記の研究期間に入院中で、気管切開孔から採取された吸引痰の抗酸菌培養が提出された方。</p> <p>●研究期間: 倫理審査承認後から2029年3月31日 ※重心病棟入院中など、患者さんの入院時期によりましては、個別に説明同意書をお渡しする形での対応を行います。</p>
(個人情報の利用の目的)	研究期間(データ収集期間): 倫理審査承認後から2029年3月31日まで
4. 使用する診療情報	<p>●利用する診療情報内容: 年齢、性別、気管切開の期間などの基礎データ ●情報の管理: 上記の情報は、個人を特定する情報(氏名、住所、診療録番号など)は削除して、個人を特定できないように匿名化した上で、研究代表者機関である大分大学病院に郵送またはインターネットを解して提出され、集計、解析が行われます。また分離された菌株は、結核研究所へ輸送され、解析が行われますが、診療情報同様に匿名化され、個人が特定されることはありません。</p> <p>対象診療期間: 2023年10月1日～2024年3月31日</p>
5. 使用する検体	喀痰から分離されたマイコバクテリウム・アブセッサス菌株
6. 病名	<p>・気管切開</p> <p>・肺非結核性抗酸菌症(肺マイコバクテリウム・アブセッサス症)</p>

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話: 092-565-5534

FAX: 092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)